

第3章 将来の人口・世帯規模

県都前橋市に隣接する本町の人口は、上毛大橋や吉岡バイパスの整備など道路交通網の整備と暮らしやすい生活環境の「丘の手」の町として、一貫して増加を続けています。

さらに国道17号前橋渋川バイパスの延長・高崎渋川バイパスの開通などにより、今後も人口増加が続いていくことが予想されます。

一方、将来負担を増やさない秩序あるまちづくりや公共施設のキャパシティなどを考えると、自然・田園環境と調和したコンパクトで魅力的なまちづくりが求められます。

こうしたことから、本町の将来人口規模は、現在の増加傾向が続くと想定し、次のように目標を設定します。

1 目標人口

(1) 予測

本町の人口は増加が続いており、平成17(2005)年の総人口(国勢調査)は18,060人です。この傾向が続くとすると、計画の目標年度の平成32(2020)年には21,847人になると予想されます。

(2) 目標人口

「キラリよしか 一人と自然輝く 丘の手タウン 吉岡町」の実現に向けて、雇用の場の創出、良好な住宅地の開発の誘導、若者の交流・交際機会の充実、子育て支援の充実など、若い世代の定住・結婚・子育て環境の整備を図り、平成32(2020)年度の目標人口を22,000人とします。

平成32(2020)年度の目標人口：22,000人

【人口の目標】

年度 人口	国調実績値	国調速報値	推定値		目標値
	平成17年 (2005)	平成22年10月 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成32年 (2020)
総人口	18,060 (100.0%)	19,802 (100.0%)	20,785 (100.0%)	21,847 (100.0%)	22,000 (100.0%)
年少人口 (0~14歳)	2,957 (16.4%)	—	3,147 (15.2%)	2,984 (13.6%)	3,000 (13.6%)
生産年齢人口 (15~64歳)	11,859 (65.6%)	—	12,621 (60.7%)	12,969 (59.4%)	13,100 (59.6%)
老年人口 (65歳以上)	3,243 (18.0%)	—	5,017 (24.1%)	5,894 (27.0%)	5,900 (26.8%)

※推計は、平成12年から17年の国勢調査のセンサス変化率を用いたコーホート法による割合は100%に調整。

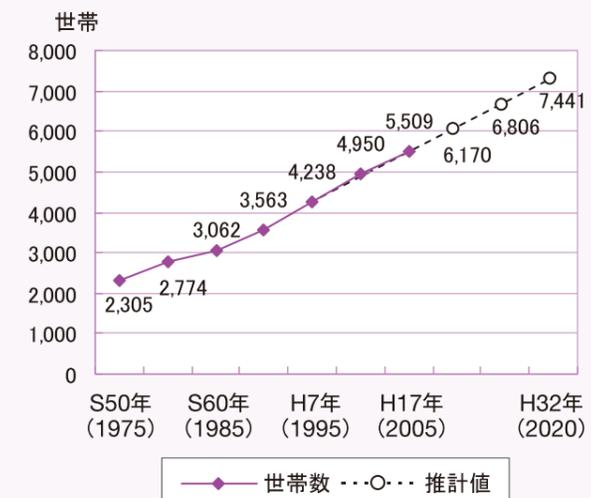
2 世帯数

(1) 予測

平成17(2005)年の世帯数は5,509世帯で、1世帯あたり人員は3.28人です。

このままの傾向が続くとすると平成32(2020)年の世帯数は7,441世帯、1世帯あたり人員は2.80人と予測されます。

【世帯数の推移と予測】



注：平成7年から17年にかけての直線回帰による推計。

(2) 目標世帯数

平成32(2020)年の目標人口22,000人の場合の世帯数を、7,500世帯(2.93人/世帯)と設定します。

【世帯数の目標】

世帯	年度	国調実績値	国調速報値	予測値	目標値
		平成17(2005)年	平成22(2010)年	平成32(2020)年	平成32(2020)年
世帯数		5,509世帯	6,523世帯	7,441世帯	7,500世帯
1世帯あたり人員		3.28人	3.04人	2.80人	2.93人

※予測値は直線回帰予測。目標世帯数は、目標人口に比例して予測値を修正。1世帯あたり人員 = 目標人口 / 目標世帯数。